

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (東北)	◎	一般小売店〔医薬品〕 (経営者)	・新型コロナウイルスもここしばらく沈静化の状態が続いている。また、年末に向かい客が今まで買い控えていた商品を買いに来ているので、12月は良くなるとみている。
	◎	衣料品専門店 (店長)	・飽くまでもこのまま新規感染者数が増えないことが前提だが、初売りで帰省客が増える。成人式が通常どおり行われる。卒業式、入学式が行われる。こういったマーケットが活性化してくれば、上向きになると予測している。
	◎	観光型旅館 (スタッフ)	・新型コロナウイルスの感染も下火であり、悪くなる材料が見当たらない。さらに、Go To Travelキャンペーンの再開も報道に出ていることから、良くなるとみている。
	◎	旅行代理店 (従業員)	・新型コロナウイルスの感染が収束した現在の状況でGo Toキャンペーンが始まれば、旅行マインドも上がり、良くなると考える。
	○	商店街 (代表者)	・新型コロナウイルス感染症の終息感がある。
	○	商店街 (代表者)	・年末年始の準備のため、商店街への来客が期待される。
	○	一般小売店〔酒〕 (経営者)	・県外からの帰省客も増えると思っている。
	○	百貨店 (売場主任)	・外出の機会が増えていくことで衣料、服飾用品や化粧品関連の需要も回復していくものとみている。
	○	百貨店 (経営者)	・前年以上に年末年始の企画が増えていることや、旅行者を中心に来街者も今後継続的に増えていくことが予測されることから、今以上に活発になると期待している。そのためには安心材料となる3回目のワクチン接種が前提となる。
	○	コンビニ (経営者)	・感染再拡大の心配はあるものの、相変わらず客単価や買上点数は堅調に推移しているなかで、今回の規制緩和で人の動きが出てきた結果、来客数が増え売上も上向きに転じている。完全に景気は底打ちして上向きに転じたかと判断している。
	○	コンビニ (経営者)	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少により人の動きが変わりつつある。それにより販売単価は増加しているが、来客数の減少が続いていることから、売上は微増で推移すると推測している。
	○	コンビニ (経営者)	・ワクチン接種と新規感染者数の減少により、人の動きが良くなるとみている。
	○	コンビニ (エリア担当)	・年末年始の帰省客が前年より見込まれる。
	○	コンビニ (エリア担当)	・街中の人出が多くなってきたので、買物等で金を落とすことが多くなる。
	○	衣料品専門店 (経営者)	・お歳暮商戦はダイレクトメールや電話等での懸命な売り込みにより、出足も良く順調に注文がきており、今後も期待できる。しかし、今後いろいろな物の値上げが予測されるので、消費者の買い控えの心配がある。
	○	衣料品専門店 (店長)	・新型コロナウイルス新規感染者数の推移次第ではあるが、ふだん着を中心に需要が増えてきており、今まで我慢していたことへの反動が消費者の行動に現れてきている。
	○	家電量販店 (従業員)	・新型コロナウイルス感染症が終息を迎えつつある状況で、来客数が少しずつ増えてきているところである。
	○	乗用車販売店 (従業員)	・少しずつ新車納期が回復しつつあるので、新車が納車になれば中古車も増え収益向上が見込める。
	○	その他専門店〔酒〕 (経営者)	・このまま新型コロナウイルス関連も含め、大きなマイナス要因がなければやや回復傾向に向かうと予想している。しかし、飲食店等は新規も含めすぐに再稼働できるわけではないので、来年春までは緩やかな回復になると予想している。
○	その他専門店〔食品〕 (経営者)	・8月末の緊急事態宣言発出時には人々の動きが止まった。そのときの状況と比べれば良い方向に向かっている。ただし、新型コロナウイルスの新変異株等での感染拡大がなければという条件付である。	

○	その他専門店 [白衣・ユニフォーム] (営業担当)	・飽くまでこの先新型コロナウイルスの影響が少ないこと的前提であるが、状況は良くなっていくとみている。特に今まで我慢を強いられてきた旅行、観光関係の業種、飲食店には一時的かもしれないが相当数の客が来ることが予想され、そのような兆しもある。特に年末年始の後の新規感染者数が非常に重要と考える。
○	その他小売 [ショッピングセンター] (統括)	・新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念リスクもあるものの、現状が続けば景気自体は上向きになるとみている。
○	一般レストラン (経営者)	・今は個人客が中心だが、このまま感染が落ち着いた状況が続けば、ウェディングパーティーや団体客も戻ってくると期待している。
○	観光型ホテル (スタッフ)	・Go To Travel キャンペーンの再開予定がある。
○	観光型旅館 (経営者)	・Go To キャンペーンの期待もあり、大きな感染拡大がなければ徐々に回復に向かうとみている。
○	旅行代理店 (従業員)	・この夏までが需要の谷・底辺であり、ここからは上昇していくことを期待している。
○	通信会社 (営業担当)	・コロナ禍で定着してきた自宅時間だが、冬季に入り更に少しずつ増えている。これまで集合住宅での1人暮らしの若年層、中年層は冬季でも外出が多かったため通信利用量は戸建て住宅加入者より少なかったが、最近は増えている。今後、集合住宅への通信設備増強もするため、利用者の加入は増えていくものと期待している。
○	通信会社 (営業担当)	・新規感染者数も減ってきており、営業しやすくなるとみている。
○	競艇場 (職員)	・毎年1月は売上や来場が増える月でもあり、年始のイベントに期待する。前年度中止になったイベント等も今年度は開催できそうなので、期待は持てる。
○	美容室 (経営者)	・客の戻り率も3か月前は70~80%、前月と今月は92%で横並びであるが、僅かずつでも上がってはきているのではないかという希望的観測をしている。3回目のワクチン接種が始まればまた改善されるとみている。
○	美容室 (経営者)	・今まで自粛していた分、反動で動きが出てくるとみている。
○	その他サービス [自動車整備業] (経営者)	・今年の年末には期待している。
○	その他住宅 [住宅展示場運営会社] (従業員)	・次年度の住宅施策の情報が出たことと、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少したことにより、今月同様の状況が続くことを予想している。
□	商店街 (代表者)	・周辺の企業では忘年会、新年会を控える企業が多く、景気回復にはまだまだ時間を要するとみている。
□	商店街 (代表者)	・年末年始もイベントが少ない。
□	一般小売店 [医薬品] (経営者)	・規制緩和に伴い非常に多くの若者が街に繰り出している。しかし、20代の若者もそれより少し上の世代も飲み会はしない傾向にある。また、サラリーマンも繁華街に余り戻ってきておらず、今年の忘年会、新年会は期待できない。民間会社のアンケートでも当県の60%以上の企業が忘年会、新年会はしないと回答しているので、この先の状況も現在とほとんど変わらないとみている。
□	一般小売店 [酒] (経営者)	・これから年末年始を迎えるが、制限が緩んできたとはいえ忘年会、新年会は見送る企業も多い。消費者からも、特に外出はせず家でゆっくり過ごすという声が聞こえてくる。当面、状況がこれ以上に急に好転することはないとみている。
□	一般小売店 [医薬品] (経営者)	・政府が大規模な経済対策を行うという報道もあり、景気が大きく崩れるということは想定しづらい。
□	一般小売店 [寝具] (経営者)	・新型コロナウイルスの影響だけでなく、景気自体が良くならないと商品は動かない。販売意欲が増すような景気動向に早くなってほしい。
□	百貨店 (営業担当)	・いまだ感染状況に左右される不安定さがあることと現在の動向から、来客数に更なる改善傾向はみられないと想定される。

<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス感染の収束で回復の兆しがみえてきた。しかし、ガソリン価格の高騰や各メーカーの値上げ等が影響し、平日の買い控えがみられる。反面、特売日やポイント倍セール日にはまとめ買いの傾向がみられる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・食品小売業に関しては、帰省客が多くなり、年末年始の予約も多くなることが予想される。現時点でも予約は好調に推移している。新型コロナウイルスの影響が年明けに出てくるとみており、客の動向はそれ次第であるが、それまでは変わらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業担当）	・前年は帰省が大幅に減っていたが、ワクチン接種が進んだことや最近の新規感染者数が減少していることから、今年は帰省が増加すると予想されるので、年末年始は消費拡大が期待できる。しかし、その後は横ばい又は現状と同様の状況になるとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・何が原因かは分からないが、新型コロナウイルスの新規感染者が出ていない現状を踏まえると、多分そのまま巣籠り状態が身に付いてしまい外出する人がかなり少なくなっているものとみている。これから特に雪が降り寒くなるので、外出する人が増えないと予測している。よって、横ばいか悪くなるとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少で、夕夜間の客が増える予想だったが、今月は思うようには来客数が増えていない。来月から厳しい経営が続くとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・海外では新型コロナウイルスの感染が再拡大しており、今後日本でも同様のことが起こる可能性があることから、外出を控える傾向は続くと言われる。Go To Travelキャンペーン等が再開されれば、国民感情としてももう大丈夫というイメージになるとみられるが、それまでは経済は厳しさが続くと言われている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス感染に対する先行きの不安は払拭されていない。各自の新型コロナウイルスに対する心構えが強く、解放されないとみている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・年末年始の人の動きによる売上増加が見込まれる。しかし、第6波を懸念する動きもあるため、今月以上のアップは期待できないと予測する。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	・コロナ禍が収束してきているが、まだまだ購買動向は活発になっていないとみられるため、すぐに良くなるとは考えにくい。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・自動車メーカーでは部品供給が改善されつつあると発表しているが、余り実感が無い。ほぼ変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（店長）	・年末～年度末にかけて増産体制が整うという情報も入っているものの、足元の感覚値ではその兆候は全くない。メーカー及びサプライチェーンの増産計画が軌道に乗るまで、まだまだ辛抱が必要である。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・受注生産なので、納期に合わせて製造を計画している。2～3か月後の納品売上は今月とほとんど変わらない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・旧態依然の販売方法をとっている当店は今の時代通用しないので、売上を上昇させるのは至難の業である。3か月先もそのような状況に変わりはない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔靴〕（従業員）	・新型コロナウイルスの影響が落ち着いた状況がこのまま続けば、活発な人の動きが継続するとみている。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・原油価格の高騰により販売価格が高値で推移している。感染対策緩和による回復も、今後の更なる節約志向の高まりで相殺されてしまうことを懸念している。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・燃料油の店頭価格の上昇で思うほどの回復はなく、横ばいとみている。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・これまでの国民の生活スタイル、サイクルは変化しない。特に購買もしないので景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの第6波が来るかどうか、新規感染者数が増えるかどうかで大きく変わってくる。

□	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの新変異株に対しての国の対策は今回は相当早かったので、今までのような大感染が起こることはないと思うが、一人一人の感染に対する心構えがしっかりとしているため、まだまだ繁華街の夜の飲食のにぎやかさは戻らない。良くて現状と同程度とみている。
□	観光型ホテル（スタッフ）	・会社全体の業績は伸びると予想しているが、給料などに転嫁されるまではまだ時間が掛かるとみている。
□	旅行代理店（従業員）	・客の旅行動向は新型コロナウイルス感染症拡大の第6波を警戒しながら少人数、近場が中心で、間際予約が続いている。また、先行予約も同様の傾向にある。今後もしばらくはこの状況が継続するものと想定している。
□	通信会社（営業担当）	・景気に大きく作用するほどの要因に乏しい。
□	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスのニュースに左右されるので、期待ができない。現在は県民割があり来客数が伸びているものの、実際の売上は期待よりは少ない。Go Toキャンペーンほどではない。
□	観光名所（職員）	・予約数、来客数共に微増を続けているが、Go To Travelキャンペーン等の政府の今後の動きを世間が様子見しているようである。よって、今後も大きな増加はなく、このまま微増が続いていくとみている。
□	遊園地（経営者）	・新型コロナウイルスの新変異株の推移、ガソリン・灯油価格の高騰等から、順調に好転することが期待しにくい。
□	美容室（経営者）	・コロナ禍で、行事や旅館に泊まりに行ったりするなど出掛けるチャンスが少なくなっている。
□	住宅販売会社（経営者）	・ウッドショックの影響がまだ尾を引いており、注文建築の受注に時間が掛かっている。
▲	百貨店（買付担当）	・感染状況に尽きる。このままの状態が続けば今後も来客数、売上共に期待できるが、感染状況が悪化すれば外出を控える傾向が強くなり、以前の状況に戻ると考える。
▲	スーパー（店長）	・緊急事態宣言の解除後、休日の来客数の動きに変化がみられるようになってきている。外食需要が増えてきたのか、来客数、客単価の落ち込みが今後も進みそうである。
▲	スーパー（店長）	・新型コロナウイルス感染の落ち着きにより、今まで我慢していた経済活動への消費傾向が上がるため、スーパーマーケットや食料品小売業は苦戦するものと予想している。
▲	スーパー（店長）	・新型コロナウイルス新規感染者数が大分減り、飲食業界へ客が流れている状況は続くものとみられる。
▲	スーパー（営業担当）	・各種値上げや新型コロナウイルスの新変異株の流行を懸念して、生活防衛意識が高まると心配している。
▲	コンビニ（店長）	・周辺の会社でも派遣社員の比率が高まっているが、同一労働同一賃金により人件費が高騰し雇用の問題が出てくるため、消費や将来に対する不安があるようである。会社自体も同業他社の増加により売上が減ってきて、将来の見通しが厳しくなっており、景気はやや悪くなっていくとみている。
▲	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの新変異株も見つかったため、個人客の販売量が更に落ち込む。
▲	高級レストラン（経営者）	・少しずつ良くなっているようではあるが、第6波が来れば相当厳しくなる。
▲	高級レストラン（支配人）	・現在はGo To Eatキャンペーンの食事券の利用が多いため売上等は上がっているが、1～2月に発行されるかはまだ分かっていない。発行次第では今月のような売上にはなるとみている。後は、新型コロナウイルスの新変異株の影響を非常に懸念している。
▲	一般レストラン（経営者）	・客の酒の飲み方が変わったような気がするので、例年並みの忘年会や新年会は期待できない。例年よりはやや悪くなるとみている。
▲	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの新変異株も出てきており、冬場に新型コロナウイルスの感染が拡大しないように願っている。
▲	タクシー運転手	・毎日、乗客から聞き取りをしているが、帰省を控える人が約70%、子供や孫を帰省させない人は約60%である。また、給料カットもあり、年末年始も生活必需品の購入のみであるとか、ガソリン価格の高騰で出歩かないと話す客の数が圧倒的である。そういったことから、人の動きは鈍くなると判断でき、経済的にも悪くなることが予想される。

	▲	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数が減少傾向にあるが、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感があるため、先行き不透明感がある。入国が制限され留学生、ビジネスにも影響が出てきているなど、経済のストップ要素もある。結果、人材不足が更なる景気悪化の要因になると考えられる。
	▲	通信会社（営業担当）	・原油高や各種物資の値上げが始まり、消費が鈍化すると考えられ、景気は悪くなる方向に向かうとみている。
	▲	設計事務所（経営者）	・官公庁発注の業務も想定内の発注量ではあるが、低価格での受注競争が続いていることから、官公庁を主体とする設計事務所においては厳しい状況が続くとみられる。また、民間案件については、それを得意とする委託先により大きく左右されるが、全体的には厳しいという声が同業者から聞こえ始めている。
	▲	その他住宅 [リフォーム]（従業員）	・住宅設備機器については、給湯器の納品遅れは長期化することが予想される。リフォームについては、屋外作業の工事が減るとみている。
	×	商店街（代表者）	・いろいろな規制により9月までは最悪の状態であったが、10～11月は少しずつ自由な動きに戻ってきている。ただ、12～2月の予約状況を見ると、通常の形には戻ってこない感じがあり、かなり消費が停滞すると予想している。
	×	スーパー（経営者）	・12月は原油の高値水準が続き、原材料単価の上昇、輸送費や光熱費の増加など多方面で影響が出て、商品価格への転嫁も始まり、家計への負の影響が広がるとみている。また、世界的に新型コロナウイルスの新変異株の拡大が懸念されることから、人の動きは抑制され、引き続き消費マインドの冷え込みも続くともみられる。消費はしばらくは良くないとみている。
	×	スーパー（経営者）	・可処分所得が伸びないどころか低下している状況により、節約、儉約する場面においては食料品を削ることが優先される。そして、今また新型コロナウイルスの新変異株が確認され、それが全世界的にまん延するという憶測が出ており、客のマインドを冷やしている。
	×	コンビニ（経営者）	・平日は客が戻ってきたが、週末土日に関しては全く戻る気配がない。また、これから冬になるに従って客も減ってくることが予想され、なかなか良くならないとみている。
	×	コンビニ（経営者）	・冬期間はただでさえ売上が下がるのに、光熱費の上昇と除雪代が大きく経営を圧迫してくる。夏季も稼げなかったため、冬をしのぐことができるのだろうか。不安しかない。
	×	自動車備品販売店（経営者）	・じわじわ人の動きが出てきているが、それが自動車補修市場などに反映されるのはほぼ車検時である。トラック物流もそれに伴って増えるが、市場に反応されるのは2年ほど先になるとみている。
企業 動向 関連  (東北)	◎	建設業（企画担当）	・今の景気の上昇下降の主な要因である新型コロナウイルスの感染状況については落ち着いてきている。年始に向けて完全に落ち着けば、景気も上昇するとみている。
	○	農林水産業（従業者）	・天候に恵まれ、りんごの販売単価が前年より1～2割程度高くなる予想なので期待している。
	○	食料品製造業（経営者）	・このまま新型コロナウイルスの感染が収まれば動きは良くなるとみている。しかし、原料始め、資材やエネルギーコストの値上がりで収支は非常に厳しい。
	○	食料品製造業（営業担当）	・年明けにはGo Toキャンペーンも予定されており、観光需要も加われば、更に景気は大きく回復してくるとみている。
	○	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・年度末の仕事が見込める。
	○	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・年末に向けて、各種イベントの開催や、会議、懇親の機会が増加する。年末商戦を復活させる動きもある。正月から来年にかけては、景気回復、経済活動の活発化が期待できる。
	○	電気機械器具製造業（企画担当）	・電子部品の品薄に伴い価格が上昇したことで、コロナ禍における業績は良かった。それを設備投資に回すことで、今後徐々に業績が更に良い方向に向かうと考えている。
	○	輸送業（従業員）	・新型コロナウイルス新規感染者数減少に伴い、客足が戻りつつある。

○	広告業協会（役員）	・第6波が来ないことを祈っている。予定されているGo Toキャンペーン再始動が、人の移動や消費意欲を活性化させ、広告出稿増大の原動力となることを期待している。
○	広告代理店（経営者）	・このまま新型コロナウイルスの感染が落ち着いていければ、年度末の案件も増えてくるとみている。
○	経営コンサルタント	・新型コロナウイルス感染の収束が前提ではあるが、年末に向けてリベンジ消費が活発化すると予測している。
○	公認会計士	・緊急事態宣言が解除され、少しずつ制限が解除されてきているので、人々の消費行動も年末に向けて拡大する。小売、サービス、飲食業関係は回復傾向が更に強まるので、全体的な景気はやや良くなるとみている。
○	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いているとの見込みから新幹線や旅客機が増便となっており、交流人口は更に回復するとみている。
□	食料品製造業（営業担当）	・県外ナンバーの車をよく見掛けるようになり、人の動きが出てきたことを実感するが、身の回りの景気に変化はない。変化が出るのは良くも悪くもまだ先である。
□	金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの新変異株や素材の高騰など、不安材料による影響が計りしれない。
□	電気機械器具製造業（営業担当）	・取引先の状況に大きな変化がない。
□	建設業（従業員）	・新型コロナウイルス感染症が終息するまでは先が見通せない状況が続く。
□	建設業（従業員）	・新型コロナウイルスのまん延に関係する先行き不透明感はあるものの、現時点では官庁案件も含め順調に推移すると予想している。
□	通信業（営業担当）	・新型コロナウイルスの新変異株の出現による客の動向を静観するのみである。
□	通信業（営業担当）	・半導体の影響が大きく、受注があっても製品を提供できない状態が続いている。今後も改善されるめどが立っていない。
□	金融業（広報担当）	・新型コロナウイルス第6波は想定したくないが、少なくとも消費者行動に感染症対策意識が与える抑制的影響は一定割合で存在し続けるものとみられることから、今月と同程度にとどまるものと予想する。
□	司法書士	・新型コロナウイルスの沈静化による景気回復も、住宅用半導体関連の部品不足による工期延長などが足かせとなることが懸念される。
□	その他企業〔企画業〕（経営者）	・町では飲食店等への支援策として12月から町民対象の補助事業が実施される。ガソリン価格や灯油の高止まり、その他値上げが取り沙汰されているなか、短期間ではあるが町内での動きが活性化する見通しである。
□	その他企業〔協同組合〕（職員）	・受注案件は微増にあるが、価格を上げると受注に結び付かなくなるので受注単価の値上げ交渉ができる環境ではなく、収益が厳しくなってきた。
▲	農林水産業（従業者）	・米国と中国の貿易摩擦の影響を受けて、中国産そばが日本に輸入されにくい状況が続き、流通している玄そば価格が上昇している。しかし、転作作物のそばの農協買取り価格は前年同様の最低水準になっており、今後も買取り価格が上昇する見込みは薄いとみている。
▲	窯業・土石製品製造業（役員）	・世界経済を見ても不安定であり、先行きが見通せない。
▲	輸送業（経営者）	・海外における新型コロナウイルスの新変異株の感染拡大により、予想もしていなかった形で原油価格が下がってきた。下がることは歓迎であるが、新型コロナウイルスの新変異株の感染拡大は景気の下振れ要因になる。いずれにしても、原油価格が今後どうなっていくのかは不安定である。また、国内で感染が拡大すれば、景気回復にブレーキを掛けることになると予想する。
▲	広告代理店（経営者）	・取引先のサプライチェーン問題や原油高による景気後退の懸念がある。

	▲	コピーサービス業（従業員）	・主力であるIT機器関連商品の納期は相変わらず改善されていない。解消には数か月は掛かるようである。その間、代替商品でつなげられればよいが、やはり主力商品の潤沢な入荷がなければ、しばらくは厳しい状況が続くことが予想される。
	▲	その他非製造業〔飲食料 品卸売業〕（経営者）	・取引先の地域や自分のところのデリバリー地域をみると、それほど悪い状況ではない。しかし全体をみると、生活者の給料が上がらないとかボーナスが出ないといった状況のなかでなかなか金を回しづらくなっており、消費が減退するとみている。
	×	*	*
雇用 関連  (東北)	◎	人材派遣会社（社員）	・企業側の採用意欲が非常に高まっており、適切なマッチングを行うことで採用決定者は大きく増やせると考えている。
	◎	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少に伴い、様々な経済活動が活発化してきており、消費意欲が高まってきているようである。人出も増えており、飲食を伴う会合開催にも積極的な傾向がみられる。ただ、海外の感染状況、新型コロナウイルスの新変異株の影響によっては急速な悪化もあるかもしれない。
	○	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染が収束してきたことから、地元企業の売上が増えてきている。また、客の話では東京から営業や訪問の客が訪れるようになってきているということなので、当地での経済活動が活発化していくとみている。
	○	アウトソーシング企業 （社員）	・新型コロナウイルス新規感染者数がこのまま推移すれば、景気は良くなるとみている。
	○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの新変異株の感染が懸念されるが、各種イベント実施が増えてきている。
	○	学校〔専門学校〕	・11月のブラックフライデーや12月のクリスマス商戦での活性化が期待できる。しかし、新型コロナウイルスの新変異株の国内流入状況次第で、今後の状況は大きく変化するとみている。
	□	人材派遣会社（社員）	・コロナ禍における求人数に大きな変化はなく、まだ望めない。
	□	人材派遣会社（社員）	・政府の経済政策に期待はしたいが、世界的な新型コロナウイルスの新変異株の流行など不安材料があるので、国内の景気は横ばいで推移するとみている。
	□	職業安定所（職員）	・洋上発電工事の作業員のニーズが高まっている。それにより、宿泊や飲食業への新型コロナウイルスの影響が最小限にとどまっている。
	□	職業安定所（職員）	・在職求職者数が若干増加している。新型コロナウイルス感染症拡大が鎮静化し、今後、求人数が増え雇用環境が改善するとみる人の転職活動によるとみられる。
	□	職業安定所（職員）	・新規求人数、有効求人数共に9月に続き10月も前年同月を上回っているが、今後も増加傾向が続いていくということは考えにくい。
	□	職業安定所（職員）	・製造業については、生産高は上がるものの収益面ではコスト増となった分だけ伸び悩みそうである。しかし、コロナ禍からの回復により、宿泊、飲食、サービスについては個人利用客が増加していくとみられる。ただし、温泉街などの旅館の話では、団体客の受入れや企業の宴会利用などは特に慎重になっているとのことで、売上の大きな回復は見込めないとみている。
	▲	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの新変異株次第である。日本政府がどのように対応していくかで、大きく変わっていく。
	▲	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス感染が収束に向かっているが、新型コロナウイルスの新変異株の発生もあり、まだ先行きは不安定である。株安と原油価格の高騰といった景気悪化の要素も内在している。
	▲	民間職業紹介機関（職員）	・取引企業において、閑散期を迎える企業が出てくる。
×	—	—	—